



# 規制緩和で 経済活性化を!

三月十七日(水)の衆議院災害対策特別委員会(災害特)において、私は「容積率緩和でマンション建替えを進めるべき」、「消防救急無線のデジタル化はやめるべき」との質問を行いました。

## 容積率緩和でマンション建替えを

(ごとう)十五年前の阪神淡路大震災では、古いマンション・団地がたくさん倒れました。昭和五十六年に強化された耐震基準より前から建っているマンションは全国で百五十万戸程度あるといわれています。これらを、三十年、五十年後も見据え、積極的に建替えていくことは国家戦略とも言えると考えます。政府が行ったアンケートによれば建替えを円滑に進めるのに必要なこととして、「建築規制の緩和」が四十二・一％で一位でした。抜本的な容積率の緩和が必要ではないか。

## (国土交通省長安政務官)ご指摘のと

おり。一般論として容積率を緩和すれば採算がよくなるが、周辺住民との調整、マンション住民の合意形成が難しいなどの要因で進まないこともある。建替えを妨げている課題を分析し、円滑に進める施策を講じて

参ります。

(ごとう)周辺住民やマンション住人の合意形成は、当事者が責任を負うものであり、せいぜい市町村が考慮すればよく、国土交通省は容積率を青天井(無制限)にするような選択肢を用意し、市町村主導で容積率を自ら決められるようにすべきではないか。

(国土交通省)地方分権改革推進委員会が平成二十年五月二十八日に出した第一次勧告では市町村に権限委譲すべきとの意見であり、現在検討している。

(ごとう)都会の大規模再開発だけでなく、地方中核都市で柔軟に容積率を緩和することができるよう制度を工夫してほしい。地方主権の具現策として都市計画の権限を市町村に移して頂く。地元市町村からもそのような意見を多く聞いている。お金のかからない話なので、六月にまとめる成長戦略にも是非盛り込んで頂きたい。また、売れにくい地域に建っているマンション・団地は、当座は修繕でしのぐとしても三十年、五十年考えた場合、国土交通省としてどうしていくのか。

(国土交通省)除却(取り壊し)の制度はあるが合意は難しい。いかに柔軟に建替えができるか国土交通省内でも前向きに検討して参ります。

## 消防救急無線のデジタル化について

(ごとう)平成二十八年五月までに消防救急無線をデジタル化しなければならぬことになっており、各市町村で一億円以上の自己負担が出ると聞いている。これだけの財政難の中でやるべきことなのか。また、電波到達距離が短くなり中継器の設置費用がかかる、消費電力が大きくて電池をもたなくてはならないなどデメリットは明らかに、メリットとしては電波帯域が空くことと秘匿性がいい。大きなお金をかける割にメリットが少なくデメリットが多いと考えるがどうか。

(総務省小川政務官)秘匿性、電波の安定性、データの双方向通信などから設備投資は進めていきたいが、現場で本当にメリットがあるかと言われると非常に窮する面はある。十分な地方財政措置など支援も講じていく。ご指摘の点は真剣に受け止めながらバランスをとっていきたい。

(ごとう)全国でどれだけコストがかかるのか。一市町村ではどれくらいか。

(表面より続く)

(総務省) 八百の消防本部で一箇所三億円程度。一市町村の負担は概ね一億円前後。防災無線は一自治体四億円かかる。

(ごとう) 電波帯域を空けることの意義は分かるが、新しく電波を使う人から電波使用料を徴収して、そのお金を市町村に頂けないか。地方行政と電波行政は総務省がともに所管しているのだから、ゼロベースで大胆に見直してほしい。また、いろいろな国から自治体への支援措置が、地方交付税の形で支払われることがあるが、不交付団体(地方交付税を受け取っていない自治体)では全くメリットがない。不公平のない形にしていたきたい。

(中井防災担当大臣) 警察無線のデジタル化では、競争入札を導入し、警察官が持つ無線機及び警察署の無線の基地整備は百八十八億円が六十七億円になり、浮いた分は国庫返上する。私(防災大臣)から総務大臣に対し申し上げておく。

(ごとう) 消防救急無線と防災無線の導入に際し、必ず競争入札を入れていただくようお願いいたします。

参議院議員(4期)、法務大臣。横浜市生まれ、中央大法学部卒、横浜弁護士会所属

### 民主党は、この2名を本年夏の参院選(神奈川選挙区)候補者に公認しました

参議院議員(09年補選で初当選)、国土交通委員  
横浜市南区生まれ、東京大学経済学部卒、  
経済企画庁(現内閣府)、関東学院大学非常勤講師、  
OECD エコノミスト



千葉 景子



金子 洋一

### テレビ番組出演!

TBS「どうなるニッポンの行方5」に出演しました。「総理大臣になったら何をしますか」を発表して討論し、有権者100名が判定する番組です。私は「徹底した規制緩和が必要。例えば介護では、要介護者が爆発的に増える中で、安く入れる簡易な施設をつくってもいいのではないか。お金がない中で、ムダな規制をなくして仕事を増やすことが、今政治に最も求められている。」と主張し、賛成57人反対21人という結果でした。

### 民主党は党員を募集しています!

- 民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上の方なら、どなたでも党員になれます。
- 党費は年間 6,000 円です。
- 党員は代表選挙で投票できます。また、民主党の運営や活動、政策作りに参画することができます。
- 民主党の広報紙「プレス民主」(月2回発行)と党員証が送付されます。
- 党員の権利や活動は、民主党規約や組織規則などで定められており、それ以外の義務やノルマなどはありません。

### 地方議員候補者募集

2011年に予定されている下記の選挙に立候補する候補者を募集しています。民主党の理念を理解し、身を粉にして政治改革に挑戦される方、16区総支部までご連絡下さい。  
(TEL:046-296-2411)

- 2011年4月 伊勢原市議会議員選挙  
相模原市議会議員選挙(南区)  
愛甲郡議会議員選挙
- 2011年夏 厚木市議会議員選挙
- 2011年秋 愛川町議会議員選挙

お問合せ : 民主党神奈川県第16区総支部 TEL 046-296-2411 FAX 046-296-4811

〒243-0017 厚木市栄町2-4-28-212

www.jitsugen.jp でごとう祐一の最新情報を発信中  
メールマガジン「従流志不変」の購読申込みもHPから

